

「AMAZING TOYAMA」とは

「富山とはあたかも夢が現実になった街である」本市の政策参与である、哲学博士のジョセフ・ランゾウ稲田氏の言葉を平成25年4月に聞いたとき、私たちの心に訴えてくる何かを感じました。

立山連峰を望む豊かな自然と親切で慎み深い市民の存在に加え、自然と文化の調和を保ちながら質の高い生活を実現するための新たな挑戦などが、街のいたるところにちりばめられた様子を、ランゾウ氏は「AMAZING TOYAMA」という言葉で表現されました。

「AMAZING」を直訳すると、「驚くほど見事な様子」という意味がありますが、ランゾウ氏のような国際的な視点で見たとき、私たち市民一人ひとりの普段の生活の中にこそ、AMAZINGが存在することに、あらためて気付かされたのです。

普段の生活の中で、主役となるのは、当然市民の皆様です。そして、市民一人ひとりの地域への誇りこそが、富山市の魅力や価値の源泉であり、これからの富山市の未来を描き出す基本となります。

いまの富山市を生き、そして未来の富山市を描き出す、私たち市民一人ひとりに、気付きのきっかけを与えてくれるメッセージ、それが「AMAZING TOYAMA」なのです。

これまで、富山市民の心のふるさととも言うべき立山連峰を愛する気持ちなどを表現した「立山あおぐ特等席」のキャッチフレーズのもと、本市の認知度やイメージを高めるため「シティプロモーション」に取り組んできました。これに加えてさらに今後は、北陸新幹線の開業を機に交流人口の拡大が見込まれる中で、本市の魅力を発信していくことはもとより、市民一人ひとりがより一層、「わがまち」に対して愛着や誇りを抱く、いわゆる「シビックプライド」が重要であると考えています。

富山市では、市民の皆様がフレーム状のデザインである「AMAZING TOYAMA」のロゴを用いて、これまで当たり前感じてきた地域の魅力をあらためてAMAZINGなものとして切り取り、さらに新たなAMAZINGなものを創造していくプロセスを共有し、市民の皆様同士のコミュニケーションを通じて、一人ひとりが心に抱く富山市民としての誇り（「シビックプライド」）を育てていきたいと考えています。

ここから、新しい富山市が、はじまると信じています。